

総会等の日程の見直しについての意見

1.総会

No	1. 総会
1	<ul style="list-style-type: none"> ・踏み込んだ議論の場、方針決定の場とすることは難しい。 ・意見交換や情報共有の場としての価値を高めることが望ましい。たとえば、国大図協の事業（協会賞、海外派遣等）について、さらに成果の共有を図ったり、各大学の好事例について、実質的な担当者が報告を行ったりする機会と時間を増やすことが考えられる。そのためには、日程を現状より長め（半日→1日）にしてもよい。
2	海外派遣の報告を聞く機会を設けていただきたい。
3	<p>現行の「半日」日程のままが適当である。本会議及びワークショップの関係、ワークショップの開催時間とテーマ数についても、種々の制約の中では満足度の比較的高い日程であると考えている。</p> <p>ただ、報告事項をはじめ本会議の進行が予定より早まる傾向にあるとの印象を持っており、新たに、海外派遣事業での派遣者からの報告を聞くチャンス等を設けてはどうかと提案したい。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の時間が短い。内容が不備である。 ・大学図書館への文部省の予算説明をマネージメントセミナーの時間枠へ移動してはどうか。 ・空いた時間で各大学が努力している事業を紹介する時間を増やしていただきたい。
5	<p>総会での意見交換や議論が少ないのは物足りないが、時間を増やしたからといって活発な議論が行えるのかむずかしい課題である。</p> <p>お昼前（例えば11時）から開始して、午後にワークショップの時間を十分に確保した上で、遅くとも17時30分頃には終了とし、その後できるだけ早い時刻から懇談会を開始してもいいのではないか。</p> <p>総会が予定より早く終了しても懇親会の開始時刻が変わらないので、待つ時間が無駄に感じる。会場設営の都合もあるだろうが工夫してほしい。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・総会では委員会の報告や意見交換に十分な時間を取った方がよい。理事館であっても必ずしもすべての委員会の活動を把握しているわけではない。そのため、総会は1日半ないしは2日の期間が必要である。 ・委員会が報告書を公表した場合は、その説明を総会で行うべきではないか。 ・総会のワークショップは、委員会の報告書に基づいたテーマを設定してもよいのではないか。
7	<p>総会が議論の場として十分に機能していないと感じる。その原因として各委員会が検討している課題とワークショップで取り上げられるテーマが必ずしも関連していないことがあるのではないか。現状の総会では、各委員会のもつ課題についての議論がなされていない。また、現在のワークショップは研修的な内容であり、きちんとした議論の場となっていない。各委員会のもつ課題をワークショップにおいて活発に議論し、総会への付託事項を決議できる状況になれば、議論の時間が少ないという不満が解消されると思う。そのためには、各委員会が任務としている課題をテーマとして企画したり、ワークショップの内容を精査し、複数年計画の下にテーマを設定したりするなどの改善が必要であろうと考える。</p>
8	<p>課題整理いただいた「総会での意見交換や議論の時間が少ない」という点は、理解しますが、現実問題として、これ以上の日数を総会出席のために割くことは困難であるので、マネージメント・セミナーを含め、現状維持、あるいは日数短縮の方向を希望します。</p>
9	現行通りで良い。
10	<p>総会に関して規定されている会則第17条から第20条に照らし合わせれば、ワークショップ等は同じ日程で行われている附随的な行事と捉えることも可能と考える。（ワークショップは過半数が出席しなければ成立しない性格のものではないし、ワークショップの後、何かが決議されるものでもない。）</p>
11	・現状で特に大きな問題はないと思います。

総会等の日程の見直しについての意見

1.総会

12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会に図書館長が出席することは重要であり、意義が大きい。昨今、館長が理事を兼ねるなど館長がより多忙になっている傾向を考慮して、出張期間をできるだけ短縮して参加しやすくすることが最優先と考える。 ・ 一日目の開始が午前か午後かによって前泊の要否に相当の範囲の大学で差が生じると思われる。(開催地区によって変わるが) → 館長の参加促進のために現行の、一日目＝午後半日(総会)、二日目＝午前半日(マネジメント・セミナー)より長くすべきでないと考え。 ・ ワークショップ等議論の時間を充実することについて、現行の時間でも議論の時間が大幅に不足しているとは言えないのではないか。もし、更に時間を確保するのであれば、2.に記載するように、マネジメント・セミナーの内容を当初の目的に合わせて別の機会の開催とした上で、二日目の午前をワークショップに充てる方法が考えられる。
13	<p>特段の意見はございません。</p>
14	<p>研究集会と海外派遣報告会は各大学にとって大いに参考になるので復活して欲しい。そのため、日程を1日制に変更することを望む。</p>
15	<p>館長先生をはじめ、貴重な時間をとって参加していることもあり、有益な情報交換という面から、ワークショップを充実させるべきと考えます。図書館を取り巻く状況が複雑化し、大学内においても教育や研究へのより直接的な貢献が求められている中、個々の課題について、より深い議論が必要になってきていると思いますが、現在の日程では時間が十分ではなく、議論が未消化に終わっているように感じます。次項のマネジメント・セミナーとワークショップを統合することで時間を確保するのもひとつの方法かと考えます。</p> <p>また、現在は複数の分科会が同時並行で実施されていますが、少なからぬ参加者は両方に参加したいと考えておられるのではないかと推察します。テーマは複数と成らざるをえないかと思いますが、その場合、分科会でなく全員参加とし、ひとつひとつ時間を掛けて議論するのがよいと考えます。</p> <p>なお、ワークショップの準備についてですが、日程的に少しでも余裕を持って行っていただければ、日程的にテーマの決定を少し早くされてはいいかと思っております。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1の回答において、総会は最高決定機関(組織)であると規定する必要性はないと、しているように、協議する機会よりも、情報の発信・収集・交換・共有の機会とすることに努めるだけでも有効に機能すると考えます。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の12:30開始では、当日移動の場合、昼食を食べる時間もないため、総会の開始時刻を13:30からとし、17:00に終了してほしい。 ・ワークショップは、翌日のマネジメント・セミナーと統合して開催してほしい。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・総会を1日制にすると前泊が必須となるので、当面は現行の形で良いのではないか。 ・マネジメント・セミナーは、参加者が出席するかどうかを選択できるため、現行の総会の翌日に開催する形が良い。

総会等の日程の見直しについての意見
2. マネジメント・セミナー

No	2. マネジメント・セミナー
1	<ul style="list-style-type: none"> ・日程(総会の翌日)、開催趣旨(大学あるいは大学図書館のマネジメントに関わる課題を取り上げ、意見交換・情報共有する)とも現状どおりでよい。 ・当初の開催趣旨に戻す必要はない。「新任管理職向けの研修機会」が必要であれば、別の機会を考えるべきである。
2	ワークショップとマネジメント・セミナーの趣旨が曖昧になってきていると思う。このまま、継続するにしても、どちらかに新任管理職向けのトップマネージメントに関わる課題(危機管理含む)を取り上げていただきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の「総会翌日の午前中」との日程のままが適当である。同セミナー時のアンケート調査結果からも言えることである。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学幹部向けの研修会となってきた。 ・もう少し、図書館幹部も講演を聞いて、自分の大学の環境改善に資する内容にしてほしい。
5	総会の翌日か前日に開催されれば参加しやすい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・準備に時間をかけているだけ、マネジメント・セミナーの内容は充実しているが、やや企画がマンネリになっている嫌いがある。
7	マネジメント・セミナーは、参加者数も多く、満足度も高いので、現在の研修の場としての位置付けでよいと考える。対象者も現在のとおりの希望者でよい。取り上げるテーマは、今日の大学を取り巻く問題や課題と関連して図書館の問題を取り扱うようなものにしてほしい。
8	大学に関するマネージメントは他にも聞く機会も多いので、大学図書館の課題とそのマネージメントに直結する具体的なテーマを取り上げていただくことを希望します。
9	現行通りで良い。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、マネジメント・セミナーは総会の翌日に行われており、欠席しない限り、総会参加者全員が同じ情報を共有できる。一方で、ワークショップは複数のテーマのものが同時に開催され、総会参加者は選択を強いられる。 ・ワークショップで取り上げられるテーマは非常に即時性が高く、管理職に有用なものであると考えている。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント・セミナーに一定の評価をする声が多いのであれば、実施することが妥当であると思います。 ・総会ワークショップのテーマと重複する可能性があるのであれば、事前に調整した方がいいと思います。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント・セミナーの内容を当初の目的に合わせてはどうか。 ・これにより参加対象者が限定されることもあり、総会とは別の機会の開催とすることもありうる。もしくは、二日目の午後に開催することも選択肢としてはあるか。 ・会場確保、設営などで総会担当大学にかかる負担をどのように考えるか。
13	特段の意見はございません。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のアンケートを見てもセミナーの評価が高く、新任管理職向けの研修にわざわざ戻す必要はなく、開催の趣旨や時期について現状のままでよいと考える。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・現行のマネジメント・セミナーは、総会に付随して開催される講演会のような位置づけにとらえている参加者も少なくないのではないかと思います。 ・前項のように、総会のワークショップに統合するのも一つの方法かと考えますが、単独開催を継続されるのであれば、たとえば大学の理事や、各大学の教育部門、研究部門の中心となって実際に活躍されている方をお招きするなどして、大学経営という高い位置からの図書館の位置づけ、役割、施策を議論する戦略会議のような内容にされていってはいかがでしょうか。
17	ワークショップと統合し、総会翌日の開催を希望する。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・2~3時間程度で新任管理職向けの研修を行うのは不可能なので、当初の趣旨にこだわる必要はないのではないか。 ・むしろ、図書館が直接関わることを超えた大学全体に関わる事項等を取り上げ、それと図書館の機能・サービスとの関係を考える機会と考えたほうが良い。
19	マネジメント・セミナーの開催に当たって、毎回の担当委員会でのご苦勞を推測するが、参加対象者を広く設定するとしても、できるならば当初の開催趣旨を踏襲したセミナーの開催に努めて頂きたい。

総会等の日程の見直しについての意見
3.考えられる対応策

No	3. 考えられる対応策
1	<p>・総会の日程を以下のとおりとする(提案) 10:00～12:00 一般経過報告、予算案・決算案協議、所管事項説明等 13:00～18:00 ワークショップ、事例報告等 ※10:00開始であれば、会場の近隣の大学は前泊なしで参加できる可能性が高い。 ※早めの終了とすることにより、必要に応じて、翌日、本務校に出勤する選択肢を確保する。</p>
2	<p>○総会の中の「文科省説明」をマネジメントセミナーの前半に移動して欲しい。 ○移動して空いた時間を有効に使ってほしい。</p>
3	<p>総会とマネジメント・セミナーは一本化せず現行のままにするが、総会の開始時刻、終了時刻及びプログラムの時間配分を工夫する。議論が必要な議題については総会の前に予告しておく。 総会ワークショップとマネジメント・セミナーのそれぞれの意義を明確にしたテーマ設定にする。</p>
4	<p>・案2がよい。</p>
5	<p>案1の「現行を維持する」を支持する。現状の時間のままで、報告的な部分は思い切って圧縮し、適切なテーマの下に議論や意見交換を行う部分を増やして、報告と議論の時間配分を変えるようにしてほしい。</p>
6	<p>「案1 現行を維持する。」を選択する。</p>
7	<p>総会そのものとしては半日の日程で充分と考える。 ワークショップとマネジメント・セミナーのテーマが類似することの懸念が示されているが、ワークショップの位置づけを変え、総会参加者全員がワークショップでの情報を共有できるようにすることも一法と考える。</p>
8	<p>「案1:現行を維持する」を支持する。</p>
9	<p>・現行維持でよいと思います。 ・総会とマネジメント・セミナーの開催日を続けて設定していただければと、出張を一つにまとめることができますので、有難いです。</p>
10	<p>特段の意見はございません。</p>
11	<p>案3に同意する。</p>
12	<p>日程について、次の形を提案します。 ・総会は、日程的には2日、実質の長さとしては1日の構成とする。 ・1日目は午後からの開催とし、審議、報告、ワークショップ(第1テーマ)を行う。 ・2日目は午前中だけの開催とし、ワークショップ(第2テーマ)を行う。 ・ワークショップはいずれも全員参加とする。</p>

総会等の日程の見直しについての意見
3.考えられる対応策

13	<p>・「案2」を基本として、以下のとおり考える。ただし、「案1」でも日程としては大きな違いはなく、現行維持でも可と考えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を総会と位置づけし、第1日目(午後から、第一部と第二部の二部構成)及び第2日目(第三部。午前、又は午前～午後3時程度)の2日間構成とする。 ・第1日目: 第一部(現行の全体会議(1)):議決の場であり定足数のある議事 第二部(現行のワークショップと全体会議(2)):強い出席義務のない議事 ※ワークショップ(2件)は、全体的な課題検討の議事として継続する。ただし、現行のマネジメント・セミナーでの「講演とディスカッション」をワークショップの1つに組み込むことも可能と考える。 ・第2日目: 第三部(現行のマネジメント・セミナー又は研究集会):強い出席義務のない議事 ※ほぼ現行どおり。ワークショップの取扱い(ワークショップとマネジメント・セミナーの内容重複)にもよるが、教育・学修支援活動の事例など具体的な情報共有を進めるうえで研究集会(若手・中堅職員による取組事例報告等)として位置づけることも可能と考える。また、研究集会での報告として、協会賞表彰や海外派遣の内容の報告も十分に時間をとって行うことも可能と思われる。ただし、報告者の出張旅費などについては、協会予算から支弁するなどの配慮も必要である。また、開催が午後にまたがる場合は、会場にもよるが昼食の手配等が生じることも考慮する必要がある。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・主権者である「会員」の代議員である「理事・理事会」において、充分協議され決定された事項については、簡単に報告するにとどめ、総会での協議は簡潔が良い。 ・その代り、「協会賞」「海外派遣」「委員会」等の協会活動や、各会員の特色ある活動の報告が、資料記述の報告だけでなく、コンパクトなプレゼンや簡単な質疑応答をすれば、協会全体での共有性はもっと高まると考えます。 ・総会ワークショップとマネジメントセミナーのテーマが重複する可能性があるが、ワークショップの方が、個々の会員の活動に資するためとして位置付け、マネジメントセミナーの方は、協会全体の行動を方向づけるうえでの協議機会としての位置づけを明確にしておけば問題ないと考えます。
15	<p>案1(現行を維持する)に近いが、案4として、「総会の開始時刻をずらすため、ワークショップはマネジメント・セミナーと統合する。」を提案します。</p>
16	<p>・「案1:現行を維持する」が良い。</p>
17	<p>本学図書館は1課体制の小規模な組織であり、また館長も執行部のメンバーを兼ねていることから、できれば今以上に出張期間が増える案は避けたいところである。</p>

総会等の日程の見直しについての意見
4.その他

No	4. その他
1	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、特にワークショップの記録をビデオで残し、国立大学図書館協会のウェブサイトにおいて会員限定で公開し、研修等で活用してはどうか。また、総会のワークショップの配布資料も同様に国立大学図書館協会のウェブサイトにおいて会員限定で公開する。 ・春の理事会は総会の議事内容の確認も兼ねているので特に委員会等の報告事項については、各地区の理事館が地区加盟館に春の理事会の概要メモを送付してもよいのではないか。
2	海外派遣研修の報告を総会で行う必要はないが、別に機会を設けて広く周知すべきである。(図書館総合展の一コマなど)
3	<ul style="list-style-type: none"> ①会場はホテルの宴会場等ではなく、大学の大講義室等でできないか検討すべき。ホテルで実施するのは図書館の会議ぐらいである。昨今の他の会議と比較すると常識外れではないかと思われる。場合によっては、常に東京開催とし、例えば青少年センターや文科省の講堂などでやることも検討してはどうか。 ②ワークショップは現状のままでよいが、まとめをする必要はないと感じる。 ③情報交換会も大学の生協等を利用してできるだけ安価にできるよう工夫すべき。会費が高すぎる。
4	特になし。
5	<ul style="list-style-type: none"> (1) ワークショップ準備期間 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の内容(大学等からの報告+議論)であれば、現在のスケジュールでも準備期間として全く足りないほどではない。 ・もし準備期間を長くするのであれば、ワークショップのテーマの設定方法を変えて、もっと早い時期から準備できるようにするしかない。ワークショップのテーマ決定が理事会審議事項であれば、秋季理事会、もしくは臨時理事会で決定することになる。 (2) 大規模図書館の事例が多いこと <ul style="list-style-type: none"> ワークショップのテーマ設定や事例報告依頼時の配慮で対応。 (3) 海外派遣の報告を聞く機会がなくなったこと <ul style="list-style-type: none"> 派遣テーマは必ずしも館長・管理職の全員が聞くことに適しているとは限らない。「大学図書館研究」での報告でよいのでは？
6	特にありません。
7	総会の開催場所は、東京と大阪の交互で開催する。なお、当番は現行通りの地区の持ち回りとする。